

# コロナに負けずにガンバろう！

2021年の年頭あいさつが、仕事始めの1月4日に城西病院リハビリセンターで行われました。コロナ禍で明けて暮れた2020年。2021年もコロナ禍は依然として猛威を振るい、例年予定していた職員研修や忘年会も中止になりました。

しかし達生堂グループは2021年、社会医療法人達生堂城西病院の白石裕比湖理事長、藤田善幸院長、白川一男副院長に新たに廣瀬雅裕副院長を迎え、社会福祉法人達生堂は新たに折笠哲男理事長、鈴木茂副理事長を迎え、荒川邦江副理事長の新体制でスタートしました。

12月28日の年末あいさつで達生堂グループの多田正毅会長は「病院設立40周年を期に、会長職となり、新体制で頑張ってやっていただきたい」とあいさつしました。

年頭あいさつで白石理事長は「日々コロナが心配。皆さんも日常生活が制限され、仕事も張り詰めた中で行っていますが、体に気を付けて1年間よろしくお願いします」、藤田院長は「病院は大過なく年末年始を過ごせて安心しています。コロナ対策も今後検討していくこと多いですが、今年は病院として外来診療のリニューアル、電子カルテの導入を手掛けていきたい」とあいさつ。折笠理事長は「楽しく過ごせる明るい施設を目指したい」と抱負を語りました。

今年の標語は、鈴木副理事長が、『思いやり 相手の立場で考える それは「まこと」「まごころ」「人の道』を発表しました。

最後に、荒川副理事長の音頭で、各部署から集まった職員とともに「コロナに負けずにがんばろう」とエールを送り、2021年のスタートを切りました。

2021年1月5日

思いやり  
相手の立場で考える  
それは「まこと」「まごころ」  
「人の道」

